Copilot:

Q:

名前は伏せますが、家の家系は、前田という親戚から「加賀藩の馬引きだった」と伝わっています。じいちゃんが渡ってきたのは、石川県能美郡からです。どうかよろしくお願い致します。

A:

お話の内容からすると、ご家系に伝わる「加賀藩の馬引き」という伝承は、江戸時代の家臣や奉公人としての役割の一端を示している可能性があります。加賀藩は前田家が治められていた大名藩であり、その運営を支える多くの家臣や奉公人が働いていました。馬引きは、文字通り馬の管理・輸送や、急な移動時の役割を担う存在として必要とされていたため、当時としては重要な役職でした。ただし、このような「下位」の職務であれば、文書としての記録が残っているケースは稀で、家族内の伝承として伝わった経緯も理解できます。

ご先祖様が石川県能美郡にゆかりを持たれ、加賀藩で働かれていたとするなら、加賀藩関係の記録や、能美郡、さらには金沢市の郷土史資料館、歴史博物館、古文書館などの資料に何らかの手がかりが潜んでいる可能性があります。特に、江戸時代の奉公人や家臣、下級職に関する記録は、家内の戸籍や地方公文書、同郷の歴史に記された記憶の中に散在していることが多いため、独自の調査や地元の歴史研究グループとの連携が有効な手段になるかもしれません。

また、役所から十分な情報が得られなかったというお話からは、戦災や戦後の記録整理の混乱も影響していると考えられます。公式な戸籍記録だけに頼らず、ご家族で保存している古文書や写真、さらには地域の伝承や郷土史に記された記録など、複眼的なアプローチで調査を進められると、より多角的な理解や新たな情報獲得が期待できるでしょう。

もし可能であれば、石川県内の歴史研究者や系譜の専門家に相談されるのも一つの方法です。こういった専門家は、江戸時代の下級奉公人やご先祖様のような方々の生活背景についても精通していることが多く、地域の公文書や古文書の中から意外な手がかりが見つかる場合もあります。また、加賀藩関連の文献や研究書には、当時の身分制度や職種について詳細な記述がある場合もありますので、それらへのアプローチも併せて検討されてはいかがでしょうか。

さらに、加賀藩の組織や奉公人制度についての知見を深めることで、喬然たる家系のルーツがどのように時代背景とリンクしているのか、またどのように地域社会や家族の歴史に影響を与えているのかを再評価できるかもしれません。もしご関心がございましたら、江戸時代の家臣制度や加賀藩の内部組織、地域ごとに異なる歴史の記録なども合わせて調べると、より豊かな家系の物語が浮かび上がってくるでしょう。

このような調査は一筋縄ではいかない面もありますが、ご家族に伝わる貴重な記憶と地域の歴史が交わる場所には、必ず掘り起こすべき魅力的な要素が眠っているはずです。さらなる手がかりとして、具体的な古文書の所在や関連する研究事例などについても情報を集約しておくと、今後の調査に大いに役立つでしょう。

この辺りの調査や情報収集に関して、もし他にも具体的なご質問や調べ方のアドバイスが必要でしたら、どうぞお知らせください。

Q:

家の家系は加賀藩らしく前田という親戚から家の家系が「加賀藩の馬引き」だったと伝わっています。戦国時代から江戸時代にわたって家に住み込んで世話をする身分の低い者を当時何と呼んでいたのでしょうか？戸籍をたどったところ実家は農地であった事から農家ではないかと言いますが？どうかよろしくお願い致します。

A:

江戸時代までの武家屋敷や藩家では、家に住み込み、雑用から専門的な仕事までを担っていた低位の者は、全般的に\*\*奉公人（ほうこうにん）\*\*と呼ばれていました。中には、その職務内容が馬の世話や運搬といった専門分野に特化している場合、通称として\*\*「馬引き」\*\*あるいは\*\*「馬番」\*\*などと呼ばれることもありました。これは、加賀藩のような大名家で、日常の運用に欠かせない馬の管理を任された者たちを示す呼び名の一つです。

一方、戸籍などの公的記録で実家が農地であったとされる場合、これはご家族がもともと農民出身であり、江戸時代の社会構造の中で農家として土地を所有しながらも、ある時期藩家に奉公に入ったり、後の時代に農業と奉公の両面が交じりあった可能性も考えられます。実際、江戸時代は身分や職業の境界が一概に固定されていたわけではなく、地域や家族の事情で農民から奉公人へ、あるいはその逆の変遷をたどる例も見られます。

まとめると、戦国～江戸時代に家に住み込み、家中の世話をする低位の者は基本的には「奉公人」として扱われ、その中でも特に馬の管理を担当していた者は「馬引き」と呼ばれた可能性が高いです。戸籍に農地の記録があるのは、ご家族がもともと農民であったり、後年の職業転換や行政上の区分変更が影響していると考えられるため、口伝の伝承と戸籍上の記録は必ずしも矛盾しない場合があります。

江戸時代や戦国期の家臣制、奉公制度については、地元の郷土史資料館や古文書館、または歴史研究に詳しい専門家に相談されると、さらに詳しい背景や経緯が見えてくるかもしれません。さらに、加賀藩に関連する文献や地域の研究書もあわせて調べると、家族のルーツに新たな光が当たる可能性があるでしょう。

何かほかにも気になる点やさらに深く知りたい点があれば、またぜひお話しください。